

2007年 11月 12日

減災の智慧を伝える

大阪ガスエネルギー・文化研究所

客員研究員 弘本由香里

全国各地で災害が絶えること  
はない。関西でも、南海・東南海  
地震や、数々の断層の存在など、  
災害の脅威が常に身近に存在して  
いる。誰もが等しく、将来の被災  
地・被災者の予備軍として日々を  
生きている現実がある。

そこで、全国の被災地に蓄積さ  
れてきた “いのちをまもる智慧”  
を丹念に掘り起こし、将来の被災  
地へ伝えていこうと、紡ぎあげら  
れた一冊の本がある。ストーリー  
ブック『いのちをまもる智慧 減  
災に挑む30の風景』。

各地の災害救援・復興支援に力  
を尽くしているNPO・NGO関係者  
(栗田暢之さん・吉椿雅道さん)、  
災害に向き合いながら地域に根ざ  
して生きる人々、人と地域に寄り  
添う減災の研究者(渥美公秀さん  
ほか)やデザイナー(花村周寛さ  
ん)をはじめ、多くの志ある人々  
の協働によって実現したプロジェ  
クトである。全国19地域、約70  
人の方との出会いから、30の温も  
りのある風景(ストーリー)とし  
て、“いのちをまもる智慧”を紡ぎ  
出している。

制作者は、災害から得られた知

恵をあえて「智恵」と書いている。  
教訓を知識に留めず、曰（い）う  
こと、立場を越えて広く伝え共有  
していくことによって知恵となる  
という願いが込められている。

その願いを受けとめ、大阪・上  
町台地上で『いのちをまもる知恵』  
の紹介と上町台地災害史を振り返  
るウィンドウ展示を行っている

( <http://uemachi.cotocoto.jp/vent/1715> )。未来のために。